大正十二年六月十八日第三種郵便物認可
大正十二年八月一日發行

第一卷
第三號

【一部二錢】

職業婦人

八月リーフレット

婦人の地位、生活、金　吉田千枝
ある父子の對話
勞働婦人のみなさんへ　北野たけ

婦人の地位、生活、金

一、

「地獄の沙汰も金次第」と云ふ様に今日の資本制社會は金の社會であります。お金さへあればどんな物でも貰へるし、またどんな事でも出來ます。この萬能なお金をもつて居る金持にとつては、今迄の社會程結構な社會はありません。金持階級は、このお金の力で現在の社會を支配してゐます。所が持てば持つ程餘計ほしくなるのがお金の特質で、金持は年中金まうけにのみ腐心してゐます。そこで金持が支配してゐる現在社會では、萬事萬端が金持の財産をふやすことをもつて、唯一つの目的としてゐるのであります。金さへまうかれば他は一切問題にならぬのであります。ですから人間の身心に百害あつて一利ない酒の醸造によつて巨萬の富を積んで居る者、貧しいあはれな女性に淫を賣らせて莫大な財産をこしらへて居る者等は、實に數知れぬ程澤山居るのであります。工場で色々の品物を作るのも金まうけのため、勞働者の勞力から剩餘價値を搾取するために外ならないのであつて、此處では勞働者と云ふ生きた人間は、金持の金まうけの道具にすぎないのであります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

此の樣な社會が多數の貧乏人にとつて有難いものでないことは解りきつたことであります。金の社會にあつて金を持つてゐない貧乏人は、飢ゑ死ぬことを欲しない限り、唯一つの持物であり、生れながらの財産である勞力を賣るより外に道がないのであります。所が是非買つてもらはねばならぬ弱味から、この勞力の値段は資本家のお望み次第に廉くされてしまひます。それでも世の中には買手のない勞力を抱へて、路頭に迷ふ人達さへも無數にあるのですから、値段が廉くてもうつかり不足も云はれないと云ふ有樣です。「稼ぐに追ひつく貧乏なし」とは耳の痛くなる程きかされてゐる言葉ですが、現在では貧乏人は、稼いでも稼いでも金持になるなどゝ云ふことは決してなく、日常の生活は苦しくなる一方なのであります。社會の大多數の人達のかう云ふ貧乏は、婦人に對しても多大の影響を及ぼさないではおきませんでした。

二、

婦人の地位は、原始共産制の廢絶以來非常に屈辱的ではありましたが、それでも今日程苦惱に充ちた時代はありませんでした。今日程ひどい貧乏人のなかつた時代には、婦人は男子に壓制はされたものゝ、結婚は婦人の生活手段として得やすいものでもあり、かつ安全なものであつたのです。

所が資本制確立のために、貧富の隔絶が著しくなつた結果として、結婚難と云ふ現像が生じました。いくら働いても妻子を養ふに足るだけの賃銀が得られなかつたり絶えず失職の恐れがあつたりする貧乏人は、心ならずも結婚を見合せることが多くならざるを得ません。

ドイツにおいては、一九〇〇年の統計によると、四十歳以上の未婚者の數は男五十六萬八千八百人、女七十五萬五千五百四十人と云ふ大數を示してゐます。

しかし、男性が結婚難によつて受ける苦痛は大したものではありません。現在社會は、彼等は結婚によらないでもその性的衝動を滿足せしめ得る制度を支へてゐるし、また結婚難の經濟的原因さへ去れば、その配遇者をさがす上に何等の拘束をもこうむらないのであります。所が婦人の場合にはそうは行きません。一度婚期を逸した婦人は、生涯、苦しい人生を孤獨で渡らねばならないのが通則です結婚難は婦人の在來の生活手段を奪うと同時に、女性として、母性としての本能を葬つてしまふのであります。その上、社會は獨身婦人を冷遇するし、多くの女性は、特殊な蔑視を、あたへます。しかもこれらの婦人が結婚し得ないのは、彼等の智力や能力が足りないからでもなければ、自分の心掛けが惡いからでもありません。それどころか、彼の女等の中に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は、外見や虚飾で異性を誘惑したり、最初の結婚の機會をのがすまいとして人物を見きわめることなしに嫁入りするにはあまりに人間的良心を持ちすぎてゐる者が多いのであります。

三、

かやうにして生活手段を失つた婦人や僅かな夫の賃銀では暮して行かれぬ婦人は、勢ひ男子同樣に勞力を賣つて生活資料を得ないではなりません。しかして大規模な機械は、生産技術を不要にしたので、義務教育がすむやすまずの少女達までが、工場に働く樣になりました。かくて各種の職業婦人が現出したのであります、自分で働いて食べて行く事は、だれにとつても確かに立派な事であるにもかゝはらず、婦人の職業に對する報酬は、實に悲慘なものであります。

　婦人の職業は、云はゞ内職的であるからとか、家計の補助にすぎないのだからとか、色々な事情で、缺勤が多いからとか、その他色々の口實で、賃銀は男子の半分位にしかならないし、勞働時間は長いし、それに反抗する力のない婦人には、特に不愉快な仕事が割あてられさへするのであります。

　どんな職業においても、僅かな給料で長時間、不衛生な場所に働く多くの婦人が、身心を損ねないで濟まうとは考へられないことです。事實、日本でも紡績工女の死亡率は、一般婦人よりも三―一〇倍高いし、女教員においても三倍は高いと云ふことであります。ミシン内職が特に婦人の健康を害した例も非常に澤山あります。

　また獨身職業婦人の心的苦痛は、その自殺者の數が非常に多いといふ統計の中にもあらはれて居ります。

四、

かくして身心を損ねて勞働に堪えられなつた婦人や、不景氣のお蔭をかうむつて職を失つた婦人、餘りに廉い勞賃のために生活が維持出來なくなつた婦人達は生きて行くために、どうしても賣淫に走らない譯には行きません。何處の統計によつても、賣笑婦の最多數を占めて居るのは、女工からなり下つた者であります今日の賣笑婦にして、經濟的原因を伴つてゐない者はほとんどないのであります

　この樣に、貧に身をおとす婦人が增加する一方には、結婚難が男性側の賣笑婦の要求を增してゐるので、賣淫制度は現在社會と分離し難いものとなつてしまつたのであります。そしてこの制度までが金持の金まうけの道具にされてゐることは前にも申した通りであります。この賣淫制度が如何に多くの婦人の健康を害し人格を無視したものであるかは、今更いふまでもないのであります。

　現在社會制度の婦人に及ぼしてゐる影

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

響は大方、かくの如きものなのであります。

五、

多くの人々は、金持と貧乏人の關係についても、男と女の關係についても、「昔からお前達はこうした者なのだ、であるから將來もこの通りであらうし、またこの通りであらねばならぬ、」といつて敎へます。すべての關係が一定不變のものならば、この關係のお蔭で特權を得て居る人には、全く好都合でありませう。しかし、かゝる特權者に壓迫されてゐる階級にとつては、絕望を意味するものであります。しかし、果してすべての關係は變化出來ないものでせうか、

否、「自然界にあつても、人生にあつても、何一つ永久なものはない、變化のみが唯一の永久的なものである」ことは、多くの研究者がすでに證明した所であります。

ダーウインは、自然界が進化してやまないことを發見したし、モルガンは人類の發達の過程を明かにしました。更にマルクスの唯物史觀は、人類社會の進化を說明したのであります。これらの研究の結果は、すべての壓制と從屬との原因は經濟的從屬に存すること、及び如何なる時代にあつても、すべての社會關係は、生產方法と生產關係の變化に伴つて變化するものであるといふ原則に歸したのであります。

かやうに私達無產婦人の困苦や屈辱は決して除去することの出來ないものではなく、原因さへ根絕されゝば、全部解決せられるべきものなのであります。即ち金まうけのみを目的としてゐる資本主義生產關係を廢して、萬人の幸福を目的とする生產關係を作ればよいのであります

今までは忍從をもつて婦人の最大の美德と敎へ、無智、無自覺にして個性のない婦人は、無邪氣であるとか、女らしいとかいふ言葉で賞讚されてゐました。そのはづです、かういふ婦人達は、その勞働力を搾取することも容易だし、男子や家庭のドレイとしておくことも容易ですから。

しかし、忍從は最早や美德ではありません。僅かな金持の貪慾のために、多くの貧乏人や婦人の苦痛をかへりみないといふ、現在社會の不合理を默過することが忍從ならば、忍從とはむしろ罪惡であります。私達は自分のため、子供のため未來の人類のためにこの忍從の美德を捨てないではなりません。私たちは社會の進化と萬人の幸福のために、あらゆる壓迫に反抗して戰ふ勇氣こそ、私達婦人の眞の美德であることを自覺しないではなりません。(吉田千枝)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ある父子の對話

お父さん、これ何の工場なの？

レンガを作る工場だよ。

この工場はだれのもの？

いや　おそこに大勢働いてゐるだらう、あの人達が作つてくれたのだよ。

ぢや、何うしてあの人達のレンガぢやないの？　あの人達もお父さんのものだつたら、このレガンもお父さんのだと思ふけど。

あの人たちな自由な勞働者だよ。何んな人間だつて他の人の財産になるなんてバカなことはないよ。そんなことになつたら、この人達はドレイになつてしまふだらう。

ドレイつて何よ、お父さん。

ドレイつて、死ぬまで他處の人のために働かなくてはならない人間のことだよ。

働いてやつと食物と着物をもらふんだよ

その人達は重い車を押すのが面白いんでせうか。[illegible]

よく[illegible]たら海岸へ避暑に行けるだせう？

そんなお金などないのだよ。あの人達はやつと生きてゆくだけで、あんなにうんと汗を出しながら働かなくてにならないんだ。

生きてゆくために働くつてどんなことするの？

それはね、あの人達が食べることや、飲むことや着る事や住居のことなんかに使ふお金をまうけるために働くことだよ。

ぢやドレイと同じなの、どこもドレイより樂なことないのね。

いゝともね。この人達は自由な人間だらう。だから父さんの爲めに働くのが嫌なら、働かなくてもいゝんだらう。好きなら何處へでも出てゆけるだらう。

こゝを出たらあの人達もうあんなに苦しさうに働かなくもいゝの？

[illegible]

もちろんさうだよ。けどあの人達はやつ[illegible]

いゝんでせう。

それはね、あの人達は自由だからさ。自分の意志といふものがあるからさ。それでは、この人達のうちでだれか父さんのとこを出てゆくとしたら、その人に父さんが何かくれてやるの？

何うして、ちつともやらしないよ。父さんはその出て行つた人の代りの人を雇はなければならないのだからね。代りの人は、欲しいと思ふ時には何時でも來てくれるのだからね。

そんなら、お父さんはあの人達をドレイみたいに、ひどくしなくつたつていゝぢやありませんか。

いや、そりやそれでまたいゝんだよ。

編輯だより

◇雜誌が毎月おくれ勝ちになつてゐるためや、また八月號は、時も時でありますので、何かアッサリしたものを出したらといふ話がまとまつて、八月號は、リーフレットにしました。豫告もしないでかうした事を御許し下さい。九月號にウンと内容をはぢきれるほど盛りたいと思つて略成案も立つてゐます。（初）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

お父さん、たゞ自由だといふことだけが何うしてあの人達にそんなにいゝことなんでせう。その理を話して下さいな。
お前の様にそんなに手輕にものをきいたつてだめだよ。
このレンガは何から作られたの？
ネンドからさ。
ネンドをお父さんが作つたの。
いや、神様がお作りになされたのだ。
神様はそれをあなたのために作つたんですか。
どうして。私はネンドを買つたのだよ。

神さまから？
いや、ある人から。
ある人はそれを神さまから買つたの？
無論そうではあるまいね。ある人はネンドをまた外の人から買つたんだらうよ。
それではネンドを買つた最初の人は神様から買つたんでせう。
いや、私はそうはおもはない。
じやどうしてネンドがその人のものになつたの。
その人は多分ネンドを盗んだんだらう。

品質日本一
ヤマサ醤油
どなたも喜ぶ！
美味しいことは
誰方をも喜ばせます。
料理の秘訣は
お味のつけ方！
良いお醤油の御使用が
一番肝要であります。
▲一升壜詰
御贈答用として
少人數の御家庭用として
至極御便利。
▲最寄の醤油店へ
「ヤマサ醤油」と御用命願ひます
千葉縣銚子町
濱口儀兵衛釀

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

労働婦人の皆さん！

皆さん、私達労働者は、毎日朝から晩まで働いて、人間が暮して行くのに必要な物を作り出して居るのに、飢えや寒さをしのいで行くだけの事さへ、おびやかされがちだといふ事は、何と間違つた事ではありませんか。殊に私共女は、いくら男と同じだけの仕事をしても、男よりもずつと僅かな賃銀よりもらへないといふ事は、更に間違つた事ではありませんか。

何故今日の世の中は、此の様に間違つてゐるのでせう。世の中の仕組が悪いからなのです。今の世の中は、資本主義の社会と云つて、物を作り出すことは、世の中の人の役に立たせる為ではなくて、資本家といふお金持ちが、お金まうけをする為になされるのです。

さて生産には色々な物が、工場の建物や色々の機械や、材料や燃料や、更にこれ等の物を使つて物を造へ出す労働者の力が必要でが、此の内道具や材料などからはもうけは上つて來ません。資本家がお金をもうけ出すのは主として労働力からなのです。それ故労働者を安く雇へば雇う程、餘計お金がもうかるのです。ですから労働者が食ふや食はずの安賃銀で働くといふ事は、資本家の金もうけにとつては、一番大事な條件なのです。ですから、資本家は色々の口實を作つて私達女を男よりもずつと安い賃銀で働かせて居るのです。

口實といふのは、女は男の様に家族を養ふ義務がないから、男と同じだけの賃銀を拂ふ必要はないだの、女は保護を加へながら使はなければならないから、男と同じだけの賃銀を拂つては割があはないだのといふ様な物で、私達労働者から見れば、ほんとに馬鹿らしい口實にすぎないのです。こんな口實で、資本家がその金もうけの目的に、女の労働力を甚だしく搾取しつゞけて居られるのは、殘念な事には事實今までの女が、弱かつたといふ事に外ならないのです。しかし、一人々の女が弱いにしても、澤山の者が團結した力は、大きな強い物でありますが、女の中にはこの團結の組織が男の中よりもずつとおとつて居たのです。そこで資本家は、何の遠慮もなく何の心配もなしに女の力を金もうけに利用して居るのであります。この安賃銀のために苦しめられて居る者は、私達女労働者ばかりではありません。安賃銀の婦人労働者は男子労働者にとつて手痛い競争者なのです。このために働き口を失つたり、自分等の労働條件を引下げないではならない男子労働者は數へきれない程澤山居るのです。

皆さん、私達は先づ團結しませう。

（北野たけ）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大正十二年六月十八日第三種郵便物認可
大正十二年八月一日印刷發行

編輯發行兼印刷人 東京市神田區表神保町十 矢部初子
印刷所 東京市牛込區台町二十二 文化印刷所

發行所 東京市神田區表神保町十 職業婦人社
電話長神田三四七三番
振替東京六四一六〇番